

2025年1月5日(日) スルメイカ 海月(みづき) 引本港  
中潮:旧12月6日 干潮15:30(72cm) 満潮21:03(136cm) 干潮27:37(33cm) 引本港湾  
私 スルメイカ 6杯 マイカ 3杯  
ツレ スルメイカ 3杯 マイカ 1杯 アジ 回ってこなかった



13時30分 自宅発  
15時20分 事務所着 (1時間50分 高速・コンビニ)  
16時00分 集合、受付  
16時45分 出船  
21時03分 満潮 (136cm 引本港湾)  
22時40分 納竿

#### 【料金】

男性 11,000円 女性 9,000円  
氷は各自持参。釣り座は船長の指示。

#### 【仕掛け】 イカメタル、オモリグ、バチコンを持参

ドロPPER2個 枝間55cm

ドロPPERのハリスは15cm。幹糸・ハリスとも3号。

イカメタルの鉛スッテは25号

※後半、潮の流れが速くなり、ツレは船長から30号を借りた。

ドロPPER上 フラッシュブースト1.8号赤緑

今回もフラッシュブースト1.8号には当たらなかった。

ドロPPER下 餌巻きスッテ : 餌巻きスッテは借りた。鶏胸肉はいただいた。

※スルメイカには餌巻きがよいとのことだった。餌巻きスッテは持っていなかったのので、船長に借りた。

※鉛スッテに赤黄を、上のドロPPERにフラッシュブースト1.8号赤緑をつけてイカにアピールして、下のドロPPERにイージースリム赤緑で釣ると考えていたが、餌巻きがよいということで、下のドロPPERに餌巻きをつけることにした。

※終盤、フラッシュブースト1.8号赤緑にはかかってこなかったのので、イージースリム赤緑に換えた。これに掛かった。今日、釣れたのは、赤黄の鉛スッテ、餌巻き、イージースリム赤緑だった。



オモリグはやらなかった。  
バチコンのオモリ 40号 イカは回ってこなかった。

### 【様子】

- 天気予報を見て3日前に予約した。微風、波はほとんどなかった。
- かかり釣りだった。水深は60m。
- 途中、潮が速くなりツレは鉛スツテを30号に替えた。
- 隣の方(船長の友人)が上手に釣っていた。
- ツレがなかなか掛からないということで、バチコンをしたが、アジは回ってこなかった。
- マイカは大型、良型、ヤクルトサイズの3杯を釣った。スルメイカは全体的に大きかった。
- ドロPPERを2つ付けたが、お祭りしたときに大変だった。船長に毎回助けてもらった。ドロPPERは1つの方がよい。
- バチコン仕掛けの竿を船に置いておくと、絡んだりすることからバチコンも鉤1本でよいのではないか。
- 船長や隣の方からイカをいただいた。

### 【スルメイカの釣り方】

#### (1) 船長の釣り方

- 竿先を大きく5回あおる。5秒～20秒待つ。これを2～3回繰り返す。  
→ マイカでの誘い方は、「小さくゆっくり5回上下させる」だった。
- 当たりがなければ、竿先を上げた後、竿先を戻しながらリールを巻く。4～5m巻き上げる。
- 上の棚まで来たら、下の棚まで落とす。これを繰り返す。

#### (2) 隣の方(船長の友人)の釣り方

- 竿先を小さく5回上下させる。5秒～20秒待つ。これを2～3回繰り返す。
- 当たりがなければ、リールを巻いて2～3m上げる。
- この方は丁寧に当たり棚を探っていた。

#### (3) 今回のヒットパターン

- 誘いを入れてステイさせる。ステイは5～20秒。  
スルメイカでもステイが必要。今日は渋かったなので、ステイを長めにした。  
船長や隣の方も5～20秒だった。
- 誘い方  
上に誘う(1～5回大きくあおる)  
ステイのあと、上に誘い上げようとしたら、当たりがあった。  
下に誘う(大きくあおってから少し待ち、ゆ～くり下ろしてくる)  
最後に掛けたのはこの方法だった。ゆっくり下ろしてきたのに道糸が緩んだ。巻き合わせをした。  
大きくあおって、ストンと竿先を落とす。  
シェイクする。
- 釣れないときに棚を変えるとき  
上の棚から下の棚へ落としながら探っていく方法  
リールのクラッチを切り、スプールを押さえながら、糸を出すようにして、竿を大きくあおる。  
当たりがないか確認しながらゆっくり下ろす。これを繰り返して3～4m仕掛けを下げる。  
下の棚から上の棚へ巻き上げながら誘っていく方法(船長のやり方)  
竿を大きくあおり、リールを一周させながら竿先を戻す。これを2～3回行う。  
ワンピッチで巻き上げる

上の棚から下の棚に落とすとき、ブレーキをかけてゆっくり落とす。

途中で仕掛けが止まったり、違和感があったりしたときに、巻き合わせをした。これで掛けた。

#### 【マイカの釣り方】 前回の記録から

##### (1) 船長の釣り方

- 竿先を小さくゆっくり5回上下させる。5秒待つ。これを2～3回繰り返す。
- 当たりがなければ、ワンピッチで4～5m巻き上げる。
- これを繰り返す。

##### (2) 船長の話聞いて次のようにやってみた。今日のヒットパターンとなった。

- ①竿先を小さくゆっくり5回上下させる。15秒待つ。  
これまで20秒～30秒待っていたことから、15秒とした。
- ②違和感を感じたら(イカが触っていると感したら)、竿先を5回さらに小さく揺する。  
小さく揺すっているときや、5回揺すった後、そーと聞き上げたときに当たりが出た。  
巻き合わせで掛からなかったときは、再度、棚の深さまで落とした。
- ③違和感を感じなかったら、①をもう一度繰り返す。それでも違和感がなければ次の棚を探る。
- ④これまでは、3回巻いて2mずつ上げてきたが、6回巻いて4mずつ上げてきた。  
船長が4～5m巻き上げると言っていたから。この方が広く早く棚を探れる。
- ⑤一番上の棚まで来たら、5mずつ落として、①～③を繰り返す。
- 違和感を感じたらすぐに合わせるという方法ではあまり掛からなかった。

#### 【マイカの釣り方2】 以前の記録から

##### (1) 基本の誘い

- 大きく竿を2回あおった後、小さく竿を数回あおり、待つ。待っているときに当たりがある。
- ステイは20秒、ステイでイカが触ってくる。
- イカが触っているのかなとか、何か違和感を感じたら、合わせるタイミングを見計らって、素速く合わせる。掛かっているときはグッと重くなる。いなければ竿先が上の方まで上がるので、それに続けて数回小さくあおって誘い、待つ。  
合わせた後、リールを巻いたなら、違和感のあった棚まで戻す。

##### (2) 釣れなかった場合は次の棚を探る。

- 大きく振り上げて、竿先を戻しながら、リールを3～5回巻く。

##### (3) ゆっくり竿先を下げて誘う方法

- ①スーッと竿を大きくあおって止める。
- ②ゆっくり竿先を下げてくる。  
この時、軽くなったり違和感を感じたりしたら、当たりであるので、合わせる。  
下げてくる途中で止めることもする。
- ③一番下まで下げたら待つ。  
ここで当たることも多い。

##### (4) ソフトな誘いとロングステイ

- ①竿を2回あおって、20秒～30秒止める
- ②当たりがなければ、もう一回あおる。少し待つ。ここで当たりがないか、確認する。
- ③当たりがなければ、竿をあおり、竿先を下げながら、3回リールを巻く。(仕掛けを2mほど上げること

になる。①にもどる。

【次回に向けて】

○今回も潮が速かった。鉛スツテ25号、途中から30号。

もともと潮の緩い時に行ってはどうか。しかし、潮が遅いと喰いが悪いだらうか。

前回 中潮:旧8月6日

干潮 14:01(79cm)

満潮 19:59(172cm)

干潮 24:34(51cm)

) 差が93cm

) 差が121cm

今回 中潮:旧12月6日

干潮15:30(72cm)

満潮21:03(136cm)

干潮27:37(33cm)

) 差が64cm

) 差が103cm

干満差が100cmを超えない日に行ってはどうか。小潮か。

○イカメタル

鉛スツテ 20号25号30号 赤黄、赤緑、赤白 タングステン25号

ドロPPER イージースリム赤黄、赤緑、赤白 実績のあるエギ

幹糸、ハリスとも3号 エダス 15cm

枝間 100cm

○バチコン

鉤は1本 ハリス20~30cm 捨糸50~60cm おもり40号(=150g)

ジグ用ロッドとリール

※スルメイカもステイが必要。ステイは5秒~20秒

<イカメタル YouTubeより>

- ・ドロPPERは1つ
- ・基本、赤黄と赤緑だけでよい。釣れているなら同じ色をつける。釣れなくなったら2色別々にする。
- ・ドロPPERには、水中姿勢が水平な物と尻下がりの物がある。ラベルに水平とあっても実際に調べる必要がある。渋いときは水平姿勢のものを、鉛スツテに掛かるときは尻下がりの物を付ける。
- ・止めは20秒
- ・棚を広く探るために、2~3mずつ、落としていく、または、巻き上げていく。
- ・棚が見つかったときは、その棚でブレーキを掛けながら一定速度でゆっくり落とす。